

……えー、人間だ～、珍し～……。

こんなイージーなトラップに引っかかるのなんて、暇を持て余したウサギくらいだと思ってたよ。

まー、いや。

人間でもイタズラごっこできるし。

その脚に絡まってるトラップ外してあげるから、ちょっとじっとしててね～……。

大丈夫。

アタシは悪魔だけど、命を取るまではしない主義だから～……。

ん……？

すんすん……んはぁ……何このニオイ……。

くんくん……まさか、トラップ引っかかったときにビビっておもらししちゃったとか？
でも……もっとオス臭くて……んっ、すーっ、っはー……エロいニオイしてんなー……。

一旦、トラップは外してあげるからさーあ？

ちょっと逃げないで、このニオイの原因、確かめさせてよ……。

はい、外れました～……。

ついでに、こっちも外しちゃおうね～……。

おちんぽの邪魔してるズボン……。

……いいからいいから……。

うわ、めっちゃ勃起してるし……。

……んー、たまーに、人間たちが森に入ってきて交尾してんのは見たことあるからさー？
でも……こんな間近で見んのは初めてかも……。

すんすん……っはー……これだ、やっぱりここからニオイしてる……。

くんくん……んはぁ……ヤバ……すんすん、すーっ……っはー……。

これ、ちょっと舐めさせてもらうから……。

あー、どうしてもイヤだって言うなら、別にしなくてもいいよ？

ただ、もう一回脚のトラップ作動させるだけだから。

逆らっても良いことないと思うけど……へへ……ちゃんと賢いオスで良かった～……。

じゃ、いただきまーす……。

ぬちゅうう……ずちゆる、ずちゅぢゅ、ぬちゅうう……ぢゅっぢゅ、れぢゅ、ぐちゆるう…
…。

ッはー……なんか美味しいんだけど……ぢゅっぢゅ……ぬちゅぬちゅ……れりゅう……。

これが、人間のオスの味……れぢゅれぢゅ、ぬちゅぢゅうう……ぢゅばっ、ずちゅずちゅう
……。

ぢゅるる、ずちゅう、ぢゅっぢゅ、ぬちゅぬちゅう……れりゅれりゅ、ずちゅるうう……。

ッはー……。

へへ……アンタも気持ちいいクセに、強がらなくてもいいじゃん……。

こんなとこまで入ってくる人間なんて、アンタくらいなもんだし……。

それに、もし誰かに見つかったら、そいつも仲間に加えて、みんなで楽しく交尾しよ
うよ……。

れぢゅれぢゅうう、ぬちゅぷっ、ずちゅるう、ぢゅっぢゅ、ぬちゅぬちゅう、ずちゅぢゅう
う……。

ぐちゅるっ、ずちゅばっ、ぢゅっぢゅ、ぬちゅぬちゅう、ずちゅるうう……ぢゅぢゅう……。

んー？

もう出そうなの？

早いな～……人間のオスって結構あっさりめな交尾する感じ？

ま……アンタが出したいならいいよ。
このままアタシのお口にちょーだいつ……。

ずちゅちゅるうう……！
ちゅっちゅ、ぬちゅぱっ、ぐちゅぐちゅう、ずちゅちゅっ、ぬちゅうう、ちゅっちゅ……！
んちゅんちゅっ、ずちゅ、ずぞぞっ、ちゅるるっ、ちゅぱっ、ずちゅちゅうう……んふう…
…！
れりゅれりゅっ、ずちゅ、ずぞぞっ、ちゅっるるう、ちゅっちゅ、ぬちゅう、ずちゅちゅう！

いーよっ、ちゅるるうう……出せっ、ちゅっちゅ……気持ちよくなっちゃえっ……。

んぶッ……ちゅっちゅ、ぬちゅるう……ちゅっちゅうう……ずちゅ、ちゅるるうう……。
ずぞぞ……ちゅちゅ、ぬちゅうう……れちゅれちゅう……ちゅっちゅ、ぬちゅうう……。
っはー……。

ねーねー、ここ見てて……アタシの喉のトコ……。

んぐッ……！

っはー……へへへ……ごちそーさまでしたー……。

悪魔相手とは言え、メスのお口マンコにザーメンびゅっぴゅしちゃったらさーあ？
ちゃーんと、おまんこの方にも射精するのが、オスとしての礼儀ってもんだよねー？

……んー？
トラップにつながったまま一晩さむ〜い森の中で放置されたいのかなー？
……そうだね、イヤなら、そこに仰向けに寝っ転がれるよね〜？

はあい、よく出来ましたー。

安心して……このままアタシがアンタの上でびょんびょん飛び跳ねて……。
女の子の大事な穴で、おちんぼシコシコ気持ちよくしてあげるだけだから……。
……え〜？
何されるか分かんないなんて言わせないよ？
騎乗位逆レイプ交尾待ちの恥ずかしい顔……今すぐ鏡で見せてやりたいなー……。
分かってるくせにとぼけちゃってさー……ホント、どうしようもないスケベな人間……。
可愛くて、だーいすき……。

んんッ……っはー……へへ……気持ちいいトコまでちゃんと届いてる……。
こんないいおちんぼなのに、人間じゃなくて悪魔のメスにハメさせられて、かわいそー……。

でも、すごく気持ちよさそうな顔してるし、セーフかなー？

ほら……動くよ？
おちんぼの先が子宮とちゅっちゅしてるの、ちゃーんと意識してねー……。

んッ、っふう……っは……ああ……。

んー……ッはー……結構、気持ちいい、かも……。

ッはー……ん、ああ……っはー……ふう、ッんんっ……ッはあ……ッああ……。

奥までッ、っんんっ……当たってるしい……。

ずちゅずちゅって……っはー……すごい音してるし……ッはー……。

んあッ、っはー……悪魔にッ、んんっ……逆レイプされてんのに……。

ッう、んはあ……おちんぽ、ガッチガチにして……ッへへ……。

もしかしてアンタ、っはー……こういうの期待して、ッんんっ……。

わざわざあんなトラップに引っかかったのかなー……。

っはー……んっ、ッはあ……。

あんな見え透いた罠に引っかかる人間なんていないもんねー……。

へへ……おちんぽこうやってッ、っはー……おまんこでぬちゅぬちゅされたくて……。

ッはあ……んっ、ッはー……メス穴に使われたくて……んんっ、ッはー……。

おちんぽ勃起させながら、誰かが来るの待ってたんでしょ……。

……んっ、ッはー……変態……。

んあっ、ッはーっ、ッう、んんっ……！

おまんこにッ、ッああ……このおちんぽの形、しっかり刻み込まれてるみたいでッ、っはー……。

外でッ、っはー……人間相手に腰振っちゃってッ、ッああ……。

めちゃめちゃ興奮するッ……っあっ、んはあ……！

んあっ、ッはー、ッあっ、アタシたちっ、だつてえ……んんっ……。

フツーにっ、ッあっ、ヤルだけなら同族とやりたいしっ、ッんんっ……！

でもでもおっ、ッああ……アンタのおちんぽ周りのニオイがっ、ッはーっ……！

信じらんないくらいオス臭くてッ、っはあっ、ッああ……んっ、ッうう……。

子宮がゾクってしてっ、ッはー……今すぐこのおちんぽハメなきやってっ、ッああ……。

思わされたんだもんっ……。

だからあっ、ッあっ、最後まで責任取ってッ、っはー……！

このおまんこのイライラすんのっ、ッは一、鎮めろよっ、人間ッ……！

ッあっ、んはっ、ッう、んっ、ッはあっ、ッあっ、んっ、ッああ……！
イイツ、これっ、気持ちいいッ、っあっ、人間相手にッ、っあっ、こんなのダメなのになっ…
…！
っあっ、んっ、ッはあっ、このおちんぼ好きになるっ、ッあっ、あんっ！

ちょっとつまみ食いのッ、っあっ、オナニー逆レイプのつもりだったのになっ、ッああ……！
こんなッ、こんな人間のこっ、ッあっ、好きになるッ……！
犯されて勃起しちゃうようなオスなのになっ、ッあっ、んあっ、イツ、イキそっ……！

っあっ、気持ちいいッ、っあっ、好きっ、やっ、恥ずかしいッ、っあっ！
人間のおちんぼでイクなんてっ、っあっ、無理っ、そんなん無理ッ、だからっ、ッああ！
あんっ、ッあっ、やっ、いいよっ、出してっ、っあっ、アタシがイク前にっ、おちんぼちっ
ちゃくしろっ！
ッあっ、ダメっ、おまんこイっちゃうっ、人間にイカされるっ、やっ、ッあっ、イクっ……！
イクイクイクイク……！！

ッあああ……！
あ……んんっ、ッは一……ああ……あへへ……。

マジ……？
っは一……信じらんないけど……超気持ちよかったのは、認めるしかないよねー……。
えへへ……。

んあ……っは一……。

……あれ……なんか、おちんぼふにやってんなー……。

もしかして、もう限界なわけ？

……アタシのこと、こんなに誘惑しといて、今さらそれはナシでしょ……。

これから一生……徹底的に、交尾し続けてもらうからね……えへへ……。

覚悟しろ、人間……。

はい、お待たせ～。

ここがアタシのおうち……。

ま、しばらくはアンタのおうちにもなる場所かな？

……へへ……冗談かどうかは、自分の脚に聞いてみたら？

さっきのトラップの怪我が治るまでは、ここにいたらいいいじゃん。

……はいはい、うるさいうるさい。

クレームはアタシが満足するまで交尾してから聞いてあげるよ～。

んじゃ、さっそく、さっきの続きを……。

……えー？

森の中歩いてる間におちんぼ回復するかと思ってたけど、まだふにゃふにゃじゃん……。

……しょうがないから、母乳あげるよ。

知らない？

悪魔の母乳には、催淫効果がある、って。

ま、知らなくてもしょうがないか。

今アタシが考えたんだし。

……ほら、こっち来て、膝枕どうぞ……。
そしたら、ちゃんと乳首吸えるでしょ？

しゃぶるの上手だったら、母乳、ちゃーんと出るからねー……。

ッう……んんっ、っはー……そーそー……上手だねー……。
んっ、ッはー……っていうか、っはー……この状況でッ、んんっ……。
一瞬でおっぱいに吸い付いてくるとかッ、っはー……。

アンタっ、っああ……連れて来られた被害者みたいな顔してッ、っんんっ……！
ホントはこの状況ッ、っはー、結構楽しんでるでしょっ、ッんんっ……！
っはー……へへっ……しかももうおちんぼ立ち始めてるしっ……。
これじゃっ、ッはー、アタシの適当なウソっ、んっ……ホントだったことになっちゃうじゃ
んっ……。
ちゃんとアンタのことっ、ッはー……からかわせろよっ、変態めっ……！

あんっ、ッふー……ッう、んんっ……。
ほらあっ、ッあっ、おちんぼ手でシコってあげるから……っはー……。
腰浮かせて……こっちにチン先向けて……。

んあッ、っはー……良い子だねーっ……。

んあ……ッはー……へへ……さっきとおんなじくらいカタイし……。
ッはあっ、んっ、ッはー……。
アタシのベッドで、ッはー……メスの匂いで、ッはー……興奮してんの？
ッはあっ、んっ、ッはー……人間なんかに発情しちゃったアタシが言うのも変だけどさー…
…。
ッはー、っんんっ……やっぱアンタもッ、んんっ……相当なスケベだよねっ……。
あっ、ッああ……っはー……ふふっ……。

変態同士……ッは一つ……いっぱいエロいことしながら、楽しく暮らしていくのもッ……。
んっ、ッはあっ、ッは、あんっ……悪くないんじゃないかなー……。
なーんてっ……。

ッうう……。！？
んっ、ッあっ、ちよっとっ、ッは一つ、そんなに吸ったらッ、っあっ、ヤバっ、ッうう……。！
マジでっ、母乳出ちゃッ……ッう、んんっ……。！！

ッううう……。！！

っあっ、ッはー……。
あ、んんっ……ごめん……おっぱい出すの、ちよっと気持ちよすぎて……。
……へへっ、分かってるって……腰振っておねだりするのやめてよ……。
そんなことしなくても、ちゃんと最後まで、気持ちよくさせてあげるから……。

っはあ……んっ、ッふー、ッう、んんっ……へへ……。
っーかっ、ッあ……マジで母乳出ると思わなかったッ、っはー……。
っあっ、んんっ……それはさあっ、ッは一つ、悪魔もッ、んんっ……。
基本的に赤ちゃん出来たときだけなんだよっ、ッはー……。
ただっ、ッはー……マジで繁殖したいオス相手にはッ、っはー、出ることもあるらしくてえ
……。

ふふっ、ッああ、んっ……アンタの精子欲しいってッ、ッはー……。
アタシのカラダがっ、そう言っちゃってんのッ、っはー……。
へへっ……マジ、運命感じる～……。

んあっ、ッは一つ、ッう、んんっ、ッあっ、ああっ、ッはー……やっぱ……。
おちんぽのニオイ濃くなるとッ、っはー……発情止まなくなるッ、っはー……。

んっ、いいよっ、ッは一……イって……精子出して……。

さっきまでアタシ専用だったベッド……ッあ、んっ……アタシとアンタの愛の巣にしちゃ
おっ……！

っは一っ、交尾専用のスケベなベッドにするっ、ッあっ……おっぱいイクっ……ッああ…
…！

ッおああ……あ……んへえ……ッあ……あへへ……。

やっば、コレ……すごく気持ちいい……頭どうにかなりそうなんだけど……。

っは一……へへ……アンタも、すごくいい顔してる……。

母乳まみれで……スケベで、可愛くて……最高……こんなの愛しちゃうに決まってんじゃ
ん……。

ちょっと、頭上げてね……。

よいしょっと……。ふー……。

へへ……おっぱいが大好きなおちんぼ君にはあ……。

特別に……おっぱいマンコで交尾してあげちゃおっかなー……。

どうせ好きでしょ、パイズリ……。

アンタが吸い出して母乳出やすくしてくれたおっぱいの谷間で、おちんぼずちゅずちゅして……。

ハミ出しちゃった先っぽは、舌でたっぷりれろれろしてあげるからねー……。

へへ……期待しまくってるその目……やらしくてサイコー……。

んッ……っふー……ッはあっ、ッふー……。

気持ちいいならー、んっ……っはー……ガマンせずに声出してよ……。

ッはー……アタシ、おちんぼ生えたこと無いからあ、ッはー……。

どこをどうしたら気持ちいいのかとかよく分かんないし……。

っはあ……だから……ッはー……ここもっとうしろとか、っはー……。

ちゃんとメスに命令してくんないとお、ッはー……おちんぼ気持ちよくしてあげらんないぞ～……。

れちゅっ、ぬちゅちゅう……れりゅれりゅ……ぬちゅうう……ちゅっちゅ……。

ッはー……さっきぶっこヌいた精液、ッんんっ……こすれて泡立って、すごくエロい味になってるう……。

ちゅっちゅ……ぬちゅうう……このオスの味好きになっちゃった……。

れりゅ、ちゅっちゅ……えへへ……アタシが他のオス相手にもこういうことしてると思うでしょ……。

れちゅれちゅ……ざんねーん……ちゅっちゅ……。

悪魔ってのはさー、ちゅうう……結構ワガママで一……。

れりゅれりゅ……自分の気に入った相手にしか、こんなことしてあげないよ？

れちゅう、ぬちゅぬちゅ……一方的にディルド扱いとかはたまに聞くけど……。

ちゅっちゅ、ぬちゅうう……家に連れ込んで、ちゅばちゅば……。

パイズリフェラまでしてあげるとか、ちゅばぱっ、ずちゅるうう……あんまないんじゃないかなー？

れりゅれりゅ……ぬちゅちゅうう……へへっ……アタシだって、相手くらい選びますー…
…。

マジ失礼なんですけど……。

れちゅれちゅ、ぬちゅうう……ちゅっちゅッ、ずちゅるうう……。

んはあ……我慢汁までニオイ強烈う……ちゅっちゅ、ぬちゅうう……。

これでアタシのこと誘惑するつもりなかったとか言うの、ちゅっちゅ……。

さすがにムリあるでしょ……れりゅれりゅうう……ぬちゅちゅうう……。

排卵するように強要してくるスケベなフェロモンまき散らしといて……ちゅちゅうう……。

れりゅれりゅ……そんな言い訳通用しないからね……。

んー、っはあ……おっぱい張ってきたあ……ちゅっちゅ……このまま、ちゅるるうう……。

アンタに母乳ぶっかけちゃっていい？

れりゅれりゅ……ずちゅるうう……ちゅっちゅ、ずちゅうう……。

ッはあッ、ッあ……ムリ……ごめん、ガマンできないってえっ……！

ッあ……イク……おっぱい出るッ……！

んお……おお……ッおほ……おお……。

……っはー……はあ……分かってるって……このまま、アタシの口にザーメンの残り出し
ちやいなよ……。

ちゃんと最後まで面倒見てあげるから……。

れぢゅぢゅう、んふう……ぢゅっぢゅ、ずぢゅるうう……。

おっぱいアクメで、ぢゅっぢゅ……おちんぽカタくして……ぬぢゅぬぢゅうう……。

アタシがイクとこ、そんなに興奮してくれるとか……ぬぢゅぬぢゅッ、れぢゅうう……。

これもう、本物の夫婦になるしかないでしょ……ぢゅっぢゅ、ずぢゅるうう……。

ぐぢゅぱっ、れぢゅっ、んぢゅんぢゅう、ぢゅぢゅう、ずぢゅるっ、ぢゅぢゅッ……。

っはー……いいよ……ほら、イキなよ……。

ぢゅっぢゅ……アタシの口の中に、キンタマ汁出せっ……れりゅれりゅ……。

濃いオス汁叩き込んで、ぢゅぢゅうう……アタシのことっ……アンタのお嫁さんにしろっ……！

んぶッ……ずぢゅるっ、ずぢゅ……ずぞぞ……ぢゅるるうう……ぬぢゅぬぢゅ……ずぢゅぢゅうう……。

んぐっ、んっ、ッ……んはあ……へへ……まだまだイケそうな濃さしてんじゃん……。

今のはもう……プロポーズってことで、いいかな？

……ほら……旦那様～？

奥さんになった相手にシなきゃいけないご挨拶、あるよね～？

……へっ……よく分かってんじゃない……。

そーだよねー？

おちんぼで子宮トントノックして、今からガキ孕ませますよ～って、ちゃんにご挨拶して？

……アタシは、いつでも準備オッケーだよ……。

そのままアタシに覆いかぶさってさー……アンタがしたいように……。

好き放題腰振って、思いっきり種付けしてよ……。

正常位で犯して……悪魔と人間……種族の垣根を超えたハーフの可愛い赤ちゃん作っちゃお……。

ほら……早く入れて……アンタのおちんぼで……アタシのことママにしろ……。

ッおお……！

ッああ……はー……やっぱあ……！

ッはー、このおちんぼのお嫁さんになるって決めたら……っはー……。

完全に子宮がアンタのこと欲しがっちゃってんだけど……。

ッはあ……入れただけで軽くイっちゃったし……。

へへ……さっきまでおちんぼ挟んでたおっぱいで良ければ、どーぞお好きに～……。

乳首吸うのもいいけど、ちゃんと腰振んのも忘れないでよ……。

ッお……んっ、ッおお……おッ、ぎぼぢいッ、っおお……！

メスの弱いトコッ、んあっ、悦んでるッ、っああ……おまんこしてくれてありがとうって
ッ……！

全身がッ、っああ……アンタのこと受け入れちゃってるう……！

ッあっ、んへえっ、ッええっ、ッああ、おっぱいもッ、いいよお、ッあっ、んは一つ、ッう、
んんっ……！

すっごく気持ちよくてッ、っあっ、んあっ、声止まんないッ、っあっ、んは一つ、んへっ、
ッああ……！

あんッ、っあう、っうう……好きいつ、ッあっ、アンタのことっ、もう好きになったからっ、
ッああ……！

アタシの体もッ、心もお、っは一つ、んあっ、全部アンタにあげるからあっ、ッあっ、んっ
……！

アンタもっ、ッう、アタシにっ、全部ッ、全部ちょーだいっ……！

オスの気持ちいいのもっ、ッあっ、好きって気持ちもッ、っあっ、全部アタシがもらいう…
…！

っあっ、んはっ、ッあっ、らめっ、ッお、おっぱい出るッ、っあっ、イグっ、ッううう……！！

ッおああ……！

おっ、ぎぼぢいっ、らめっ、ッお、おほおッ……っお、おおっ、好きっ、好きいつ……！

アンタのことっ、これ以上好きになれないくらいっ、ッおっ、超好きなのおっ……！

んおっ、ちょっとな、ちょっかいかけてっ、おちんぽ搾って遊ぶつもりだったのにっ！

ッおっ、こんなのズルだよっ、ッおっ、卑怯だよおっ！

おまんこ恋しちゃったらっ、ッあっ、逃げらんないもんっ、ッおお……！

んおっ、ッおっ、おほっ、ッおっ、言われたいつ、ッあっ、好きって言ってッ、っあっ！

アタシっ、アタシの名前呼んでっ、っあっ、アイルっ、アタシアイルって言うのっ、ッおお！
アイル好きだよってっ、ッおっ、おあっ、言っ、言っ、言っ……！

おっ、んおっ、ッおっ、おほっ、ッおっ、らめっ、おまんこだけじゃなくてっ、ちゃんとっ！
ッおっ、ズルいよっ、おまんこ気持ちいいとかっ、ッおっ、おほおっ！
アタシっ、おちんぼだけじゃなくてっ、ッおっ、アンタのこと全部好きになってんのにい
っ！
ッあっ、意地悪っ、意地悪う！

ッおっ、んほっ、ッおっ、おおっ、お願いっ、アイル好きって言っ、言っ、言っ、ッおっ、んお
……！

ッおっ、おっ、うれしッ、っおっ、おっ、おほっ、ぎぼぢいっ、嬉しいっ！
好きって言われてッ、おまんこ使われるのッ、っおっ、すっごくっ、すっごく気持ちいいの
ッ！
っおっ、んほっ、ッおっ、おっ、イクっ、おまんこイクっ、らめっ、ッおっ、おっ、しゅき
っ！
愛してるッ、っおっ、イクっ、イクっ、出してっ、精子全部っ、ッおっ！
アタシの中につ、おっ、ッおっ、キンタマ汁全部出してえっ！

ッおおお……！

お……おっほ……ッおお……。

……へへへ……入りきんないくらい出しやがって……。
もー……超好き……。

……え？
ダメだよ……アンタのおちんぼしゃぶりまくった口だよ？
やめときなって……。
……ふーん……そんなに言ってくれんなら、アタシは構わないけど……。

ぬちゅうう……れちゅ、んふ……ちゅっちゅ……ずちゅるうう……ちゅちゅ……ずちゅうう……。

っはー……へへ……ファーストキス、あげちゃった……。

……当たり前じゃん。

キスって、ホントに好きなオス相手にだけするもんじゃないの？

……あーあ。

なーんか……またおまんこの中でおちんぽカタくなってんだけど～？

……いいよ、続きシよ？

何回でも、何十回でも、付き合ってあげる。

……へへっ……アタシのほうが、何万倍も愛してるよ……。

これから毎日、お互いにエロ～いイタズラしまくって……好きなだけ赤ちゃん作ろうねー……。